

平成 28 年度市内町内会における男女共同参画に関するアンケート調査 自由記述部分（主な意見）

町内会での男女共同参画を進めるために取り組んでいること (取り組もうとしていること)

① 女性の登用に関して

- ・ 副会長、委員長への女性の参加。
- ・ 副会長、各部会における3役の女性の参加
- ・ 役員会や班長会等で女性の活躍を促し立候補や協力を依頼している。
- ・ 毎年役員はその年の組長が互選(話し合い)で決定しますが、その折に女性の比率を定めて必ず1/4なり1/3なりを女性が担うようにすれば良いのでは・・・。
- ・ 妊娠・出産時は町内の役員は次の人に変わってもらっています。
- ・ 他町内会で女性町会長も存在しています。当町内会では次の役員選任にあたり女性副会長より始めたい(希望)。
- ・ 町内の各種行事の中で、可能な限り女性をリーダーに選任するよう心掛けている。
- ・ 女性の社会進出(指導的地位)は諸外国に比して遅れているとはいえ我が国の自治体の首長にも女性が増えてきている。それに比べて町内会レベルは大きく遅れている。5月の町内会長会議でも女性の姿を殆んど見かけない。我町内でも女性役員を数名お願いしているが、トップ(町内会長)へは抵抗が強い。女性ならではの事業を増やし会長を女性に譲りたい。
- ・ 今はありませんが町内会議の中で少しずつ女性が活動できる様にして行きたい。
- ・ 当町内会は1年任期で役員を改選しているが、役職決めにおいて、男女を分けることはなく同じ条件で選出している。
- ・ 役員会に女性の参加者が少ない。
- ・ 役員は順番で回り男女問わずできる人が担当しています。
- ・ 町内会役員は、男女問わず出られる様にしています。
- ・ 役員等の成り手がなく、我々町内会で29年度より抽選方式で役員を決めるため、男女共同参画にはあてはまらないと思う。女性だけの役員になる場合もあります。
- ・ 町内会長の候補者が表れない時、組長の中から抽選で選ぶことになっている。
- ・ 町内の班長さんは隣番制にしておりますが、名簿の提出はなぜかご主人の名前であがってきます。会議等に参加されるのは奥様で・・・。まだまだ男女共同参画を進めていかなければと思います。
- ・ 町内会の執行役員に女性は現在選ばれていないが、事業担当の役員は男女それぞれ選任している。
- ・ 町内における意志決定機関の役員は世帯主があたるものとし、各種委員会等における役員は男女の区別無く、各区単位で選出している。

② 参加拡大、性別役割分担に関して

- ・ 祭礼では無形文化財の踊りに女性の参加を検討している(笛、鉦、踊り)。
- ・ 盆踊りでは灯ろう流しの灯ろう製作や夜店企画販売を女性も参加して今年は実行した。

- ・ 町内会では毎月一回公園と花ダンの手入れを行っております。約10~20名の参加で、女性の方が多く参加されます。町内会の周りが美しくなっていくと皆さんの参加が増えて行きます。
- ・ 条例があろうがなかろうが憲法に保障されていることは当然意識するのは当然だと思っている。
- ・ 自衛消防隊は男女で活動している。役員については候補に上がるが中々引き受けてもらえない。
- ・ 地域活動や自主防災会、サークル活動等に担い手のリーダーや主要行事である夏まつりや文化祭等の実行委員長に取り組んでもらっている。
- ・ 防災訓練で女性部の参加(今のところは炊出しが主)。
- ・ 女性の組長さんにも声掛けして、意見及び考えを聞いている(女性からの観点から)。同様に子ども会の役員さんは女性のため、意見を反映しています。
- ・ 町内においての男女共同参画についての意識が薄いと思います。事あるごとに意識づくりを図る。地域の行事に性別にとらわれず積極的参画の推進。
- ・ 町内会のイベントとして運動会の後の親睦会における抽選会や敬老祝賀会のアトラクションを実施している。このイベントの企画と実務を女性に担当していただいている。
- ・ 町内の自主防災組織は、男女ほぼ同数の隊員で構成し運営している。
- ・ 町内会の行事が毎年固定化しており、今後はもっと男女共同参画のできる行事をやりたい。
- ・ 毎年人権研修会を通して研修しています。
- ・ 青少年健全育成、PTA、小学校等については特に女性の方々に進めてもらっている。
- ・ 役員、班長は世帯主を登録するのではなく、実際に会議等に参画される方を登録するよう呼びかけ、周知を行っている。
- ・ 女性がしていただいていたことを無くすようにした。(集会所のそうじ、お茶出しなど)
- ・ まだまだ「戸主」の男性が町内各行事に出席するケースが多い。行事での女性参加も増加(男性の仕事の関係で)傾向なので、行事内容、分担等の見直しをしている。
- ・ 町内は基本的には世帯で活動。男がベターな場合、女がベターな場合で各世帯ごとに判断してもらっている。
- ・ 行事等での役割の押しつけをせず、可能な限り自発的に取り組んでいただけるようにし、個々人の能力に応じた働きをしていただくようにしている。母子家庭や高齢者世帯に見守りや助け合いの気持ちをもち、仕事や生活がしやすくなるよう心がけている。
- ・ 異常時、防災対策として男女を問わず元気な人が助ける行動。
- ・ 町事業においても男女、年齢を問わず各家庭から1名参加するようお願いしている。
- ・ 男女を分ける事は必要以上行わないようにしています。
- ・ 意識しなくても男女とも互いに出来ることをカバーして行っている。男女共同参画以前に町内会に参画する人数が圧倒的に少ないことの方が問題。
- ・ 男女共同参画と云うよりも老若共同参画を考えています。会議・イベントの主役に若者を引出す。
- ・ 町内会行事等の企画・立案会議には老若男女に参加頂いている。
- ・ 超高齢化社会になりつつある中では自然に女性中心になる様に思う。
- ・ 特に取り組んでいることはありません。行事内容を若い人、女性が参加しやすい内容に少しずつ変えてゆく必要はあると思います。現状は青壮年部(男)女性部が消える寸前ですので、そちらのテコ入れをまずしなければいけない。老人クラブは放っておいても元気すぎるのでいいのですが。
- ・ 行事、レクレーション等、極力男女の区別なく参加できるように配慮し、又、意見を聞くように心掛

けています。

- ・ 特別意識をしている訳でもないが女性の参加をしていただくように努力したい。
- ・ 男女共同参画は当たり前と理解しています。
- ・ 男女や年齢にこだわらず、お互いを尊重し助け合える役員関係や、町内会員とのつながりを持つ事を意識しています。
- ・ 毎月の役員会(組長)において男性、女性を問わず互いの意見が出やすい会議方法をとっている。
- ・ 男、女と決めて活動はやっていません。
- ・ 町内行事の参加に性別の区別を基本つけていない。但し行事内容により区別する場合があります。

③ その他意見

- ・ 特に意識はしていないが、常に男女平等に心掛けている。
- ・ 会議は終了予定時刻を明示し、いつ終わるかわからない... ということのないようにしている。

地域での男女共同参画を進めるために、市がどのような取り組みを進めたら良いと思いますか。

① PR、気運の醸成

- ・ 高い年齢層に対する啓発、年配の方の意識改革が大事。
- ・ 「女性参画月間」、例えば8月に集中してPRならびに懸案とする事項の解決に向けての運動を推進する。
- ・ 男性は女性を従属的立場と考える人は少なくなったと思う。むしろ女性に対してもっと積極的に社会へ出て行くべきだとPRをしていった方が良いと思います。人前で発言できる女性のすばらしさをPRしてください。
- ・ 継続的(地道な)PR 実施(広報)活動。平成21年から7年経過したがまだ知らない人が多い。
- ・ 各家庭への啓発チラシを配布(大々的に)
- ・ 町内の回覧でもいいから男女共同参画の気風が上がる概要版を組数送ってください。町の掲示板に貼るポスターはないですか？
- ・ 市が現状取り組まれている事の情報発信の強化。
- ・ 女性の活躍推進に向けた機運の醸成に取り組む。女性のエンパワーメントを身につけるための取り組みなど。
- ・ 戦後 70 年を過ぎた今でも旧来の考え(思い)から抜け出せない男性が多すぎます。優秀な女性の多い今日、個々では困難な意識改革を市が中心となって進めてほしい。そこからのスタートと思います。

② 学習会、交流会、事例紹介

- ・ 自治会としては、女性が会議や行事に参加してもらうのは大賛成ですが、女性が尻込みしてしまう。女性が積極的に参加してもらうような事例紹介やフォーラムを企画してほしい。
- ・ 講演会等の開催による勉強会および情報の収集、提供が必要と思う。
- ・ 男女共同参画で成果を挙げている事例等を教えて欲しい。それを我々の町内でも導入できるか考えていきたい。
- ・ 講師派遣。
- ・ 男女共同参画に取り組んでいる町内会間の意見交換会等。
- ・ 各種団体(各町内会も含む)の交流会をマネジメントしていただきたい。
- ・ 今回「お出かけドクターのお気軽トーク」を一斉清掃の後に利用させていただいた。大変好評でした。もし「お出かけ保健師(女性)のお気軽トーク」のようなものがあれば、女性を中心に参加者を募りたい。
- ・ 男女共同参画推進は形式にとらわれず雑談方式による参加者の硬い雰囲気や払拭しつつリラックスした中で、参加者よりの考え方や思いを見出すような取り組みを望みます。

③ 参画できる仕組みづくり

- ・ 各役職毎に委員長を男女振り分ける。(市側からの強制)。数年毎に交替するよう指導する。当初

は問題ありと思う。でも慣れてくる。

- ・ まちづくり協議会経由で各町内会へ働きかけてはいかがでしょうか？
- ・ 旧来の町内会にあっては、古い習慣があり女性の参画がし難いところがある。また、女性自身がなかなか参画しようとしにくい。まちづくり協議会で女性参画に係る具体的な取り組みを検討することが必要ではないかと思う。
- ・ 市主催の会議には女性何人出席と明示すべきです。
- ・ 学区単位では様々な組織・団体で女性参加があり、女性がリーダーとして活躍している。しかし町単位となると従来の年齢順、家の代表として男性という考えが存在し、夫が都合悪い時に奥方の出席などあるが町内会運営(現実的には町会長、副会長等、行事には夫婦共に活動している)に女性が活躍する機会はまだ生みだせていない。
- ・ 会議が夜間に行われることが多いため、女性の出席に支障をきたすことが多い。共働き家庭も多くなり、昼間開催も困難となっていて苦慮している。まちづくり協議会発足後、地域役員が会議の為に忙殺されている。市からまち協、更には町内会への事業計画の移管、指示を少なくし、末端の町内会が自主的に選択できる余地がほしい。

④ 市が率先して女性登用

- ・ 市役所の管理職を増やし、地域との懇親会・意見交換会等に出席してもらい、世の中が変わってきていることを住民にみせることが必要と思います。
- ・ 市が取り組んで改善が期待できることでは無いが、市議、市長、部長職員となる女性が増えることが内外に対して範を示すことにもなるかと考える。
- ・ 旧地区に対してはなかなか難しいと思います。市役所でも受付は女性という感覚から改革されてはどうですか。
- ・ まちづくり協議会等において、行政協力者での女性の積極登用。

⑤ 少子高齢化の問題

- ・ 当団地も高齢化の為、この先 5 年くらいで自治会も解散の状態にあります。若い人の入居を考えてくださいますようお願い申し上げます。
- ・ 高齢者が多いため、男女共同参画がむずかしい。入居される方、若い方を対象にお願いします。
- ・ 当町では少子高齢化が進み、町の行事運営も必然的に女子、女性が参画しないと推進できない状況になってきている。当町高齢化率 29.2%、草津市高齢化率 20.2%
- ・ 若い主婦の育児補助や支援をいただければありがたいです。
- ・ 社会への参画のファーストステップは仕事を通じた参画。少子化、地域の高齢化の方が深刻な問題であり、男女とも仕事に専念できるよう、通勤に便利な駅前保育所、病時保育の取り組みを着実にを行うことが行政のやるべきことである。

⑥ その他意見

- ・ 難しく考えず自然体で対応していく方が良い。女性が参加しづらい環境や歴史的背景があっても、今の時代だから、それをどうすべきか、解消可能かどうか、考えて向き合っていくべきである。
- ・ 男女共同参画だけでなく、本来の人間の在り方や人権など理想には違った古い因習や考え方がある現実をもっと知って行政を進めてもらいたい。(市が音頭をとっても変わらない現実がある。)

- ・ 町内会は町内のために存在し、市はそれをサポートする。本来の町内活動であれば男女差は存在しない。
- ・ 民生児童委員、エルダー婦人会、子ども会等、地域の女性は活躍している。新たな市の取り組みの必要性を感じていない。
- ・ サークル活動等は女性の参加者が多いので、男性の参加の呼びかけを。
- ・ 人の意識を変えるのは特に？むつかしいと思います。
- ・ 家事、子育て、介護、仕事以外に忙しいのでなかなか難しいが男の手助けが大事になる。
- ・ 町内によって異なるため現状を知る。市の行動はスローテンポである。スピーディーに何事も動き、連絡し、実行する。民間企業を研修し、心身とも入替える。
- ・ まだまだ古い考えの方もたくさんおられる中、強引に進めて変革していくには無理を感じる。良い事は十分理解しているものの浸透していないのが現状。
- ・ 理論ばかりが先行している様に思う。手・足をうごかそう！！
- ・ 女性自身が積極的に役割をこなす気持ちを持たなければ進まない。
- ・ 役員についても男性名で登録しても実際は奥さんが出席するのが実態。
- ・ 特に思い浮かぶことが見つかりません。どうしても世帯主＝男という観念から抜け出す方便がない。
- ・ 男性が休みやすい職場環境。